



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年8月25日朝刊東部版

芝川ノリ「復活」へ調査 富士宮市 例年並みの水準 生育状況や河川環境確認



神田川に入り、芝川ノリの付着状況などを調べる石川准教授＝富士宮市内

富士宮市は24日、環境省レッドリストで絶滅危惧種に指定される芝川ノリ(学名・カワノリ)の生育状況や環境を調べる定点観測調査を市内で実施した。

現在取引量は激減し、市場に出回ることがほぼなくなった「幻のカワノリ」。市北部を中心に集めたデータを基

に養殖に向けた研究を進め、芝川ノリの「復活」を目指していく。調査に回ったのは日本大短期大学部食物栄

養学科の石川元康准教授と市生活環境課、食のまち推進室の職員。芝川水系の水路や湧玉池直下神田川などに入って、芝川ノリの有無を確認したり、水温や流量など河川状況を調べたりした。16カ所ある観測地点のうち、流量が多く4カ所の調査を見送った。調査できた12カ所のうち、芝川ノリが見つかったのは5カ所。ここ数年と同様の水準だった。

調査時の気象状況に左右されることがあり増減もあるが、近年はおおむね6〜9カ所での付着が確認され

ている。2019年は9カ所、20年は6カ所だった。石川准教授は「メカニズムを解明し、

安定的に人工基板に根付かせられるように研究を進める」と語った。(富士宮支局・吉田史弥)

①「芝川ノリ」は何に指定されていますか。

②「芝川ノリ」が“幻のカワノリ”と言われているのはなぜですか。

③「芝川ノリ」の生育状況は例年と比べてどうでしたか。

④「芝川ノリの復活」のために必要なことを記事から読み取り、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/保健体育、総合)

